管機連Daily News

2026年11月11日（水）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆国の借金、9月末は1323兆円　為替介入で短期証券を償還

・財務省は国債と借入金、政府短期証券（FB）を合計したいわゆる「国の借金」が9月末時点で1323兆3632億円だったと発表。6月末に比べ23兆3201億円減。円買い・ドル売りの為替介入で得た円でFBを償還。FBは国の一時的な資金繰りのために発行する短期債券で、円売り・ドル買い介入時の円の調達にも使う。

◆9月の実質消費支出6.8%減　コロナ禍以来の減少幅、インフレと天候不順

・総務省が発表した9月の家計調査によると、2人以上の世帯の消費支出は28万9536円。物価変動の影響を除く実質で前年同月比6.8%減。インフレによる需要減で、新型コロナウイルス禍に見舞われた2020年9月以来の減少幅。新型コロナの感染が広がった20年は前年実施の消費増税前の駆け込み需要の反動もあり消費支出が大幅減。20年9月は10.2%減。

◆ボーナス年間平均支給121.4万円、7000円増加　パーソルキャリア調査

・転職サービス「doda」が手掛けた「ボーナス平均支給額の実態調査（2026年最新版）」を発表。年間ボーナスの平均支給額は121.4万円で、前回調査から0.7万円増加。内訳は夏が58.4万円（前回比0.7万円増）、冬が56.5万円（0.2万円減）、その他のボーナスは6.6万円（0.3万円増）。職種別では「資産運用/投資銀行業務」（239.3万円）が1位。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆積水ハウス・ノーリツ・ハーマンが水素コンロの共同研究を開始

・積水ハウス、ノーリツ、ハーマンの3社は水素ガスコンロを利用した居住環境評価の共同研究を開始すると発表。ビルトインタイプの水素コンロを用いた検証は日本初の取り組みとなる（※ノーリツ調べ）。室内空気環境や暮らしの中での人体への影響を評価・分析し、水素コンロを利用する上での技術課題を整理する。

◆中小企業向け「防災診断シート」配布　緊急要請に対応

・経済産業省は細野防災大臣による「事前防災徹底のための緊急要請」を踏まえ、「防災診断シート」を中小企業・小規模事業者向けに作成・提供。「地震」「水害」「風害」「停電」「断水」「通信障害」「感染症」「サイバー攻撃」の8つのリスクについて、基本的な備えができているかチェックできる。あわせて「事業継続力強化計画」（簡易版BCP）の審査内容を見直す。

◆全国1741市区町村の太陽光・蓄電池の補助金が検索可能に

・ファナスは太陽光発電・蓄電池の導入を検討する家庭向け無料サイト「ソラカルテ」において、全国1741市区町村（東京23区含む）ごとに利用可能な制度をまとめた補助金検索ページを公開。市区町村ごとに活用できる国、都道府県、市区町村の補助金制度を公式の出典リンクも掲載。国の制度5件・都道府県制度38件・市区町村制度1423件の計1466件収録。

≪　注目商品　≫

■トーソー、ひと引きで開閉可能な新機構

・ワンストロークで開閉できるロールスクリーンの新機構。掃き出し窓など高さのある場所でもひと引きで開閉可能で、間仕切りや収納の目隠しとして、急な来客時にも素早く開閉できる。全閉・全開時は上部にある操作グリップを引くだけの直観的な操作性を実現。



■サンワサプライ、縦横どちらでも自立する4輪折りたたみ台車「100-CT007K」

・収納場所に困らない！縦横どちらでも自立する折りたたみ台車。約136kgの耐荷重を備え、縦置き・横置きのどちらでも自立する4輪折りたたみ台車「100-CT007K」を発売。倉庫の棚の横やオフィスの備品庫など限られた場所にもすっきり収まる。



■ニトリ、すき間に置ける小型除湿器　クローゼットに設置可能

・小型除湿器の新商品を発売。従来の除湿機は大型で設置場所が限られていたが、クローゼットやトイレなどの狭い空間にも設置ができる点が特徴。発売したのは「ペルチェ式除湿機NR-CS08KW」。B4サイズで幅約9.1センチメートルと従来商品よりもスリムで小型。

